



平成 30 年 5 月 9 日

子供の事故防止に関する関係府省庁連絡会議
内閣府、警察庁、消費者庁、総務省消防庁、文部科学省
厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、海上保安庁

海、川、湖沼池、プール等での「水の事故」に気を付けましょう ー平成 30 年度「子どもの事故防止週間」を 5 月 21 日から実施しますー

春から初夏、そして夏休みにかけては、子どもたちが活発に屋外で遊ぶ季節であり、海、川や湖沼池に行ったり、プール等を利用したり、水遊びをする機会も増えます。それに伴い、海、川、湖沼池、プール等での溺水（溺れ）等の事故は、夏期に多く発生しています。

海上保安庁の平成 20 年から平成 29 年までの 10 年間の事故情報によると、子ども（14 歳以下）の海での遊泳中の事故者数（溺水、漂流による帰還不能など）は 574 人に上ります。

月別にみると、海水浴シーズンであり、夏休み期間中でもある 7～8 月に集中して発生しています。「4 歳以下」、「5～9 歳」、「10～14 歳」と分けて、年齢別にみると、年齢が上がるにつれ事故が多くなっていることがうかがわれますが、「4 歳以下」は保護責任者の監視が不十分であったことに起因する事故が 67.6%となっています。

また、警察庁の平成 24 年から平成 28 年までの 5 年間の事故情報によると、子ども（中学生以下）の海、河川、湖沼池、用水路、プール等における死者・行方不明者数は 244 人に上ります。発生場所別にみると「河川」が 125 人と最も多くなっています。なお「河川」、「湖沼池」、「用水路」では 7～8 月以外の時期でも事故が目立ち、水遊び中、誤って溺れるなどの状況がうかがわれます。

◆海、川、湖沼池、プール等での「水の事故」に気を付けましょう

- ・天候の変化に注意し、事前に海や川などの危険な場所の状況を確認しましょう。
- ・危険な場所がないか確認し、危険な場所に子どもを行かせないようにしましょう。
- ・釣りをする時やボートに乗る時、川で遊ぶ時などは、ライフジャケットを正しく着用しましょう。
- ・海などの水中で流されてしまった場合は、「浮いて待て！」を実行しましょう。
- ・子どもは静かに溺れていくなると言われています。周囲の人はこういった知識を持って一刻も早く事故に気付くようにしましょう。



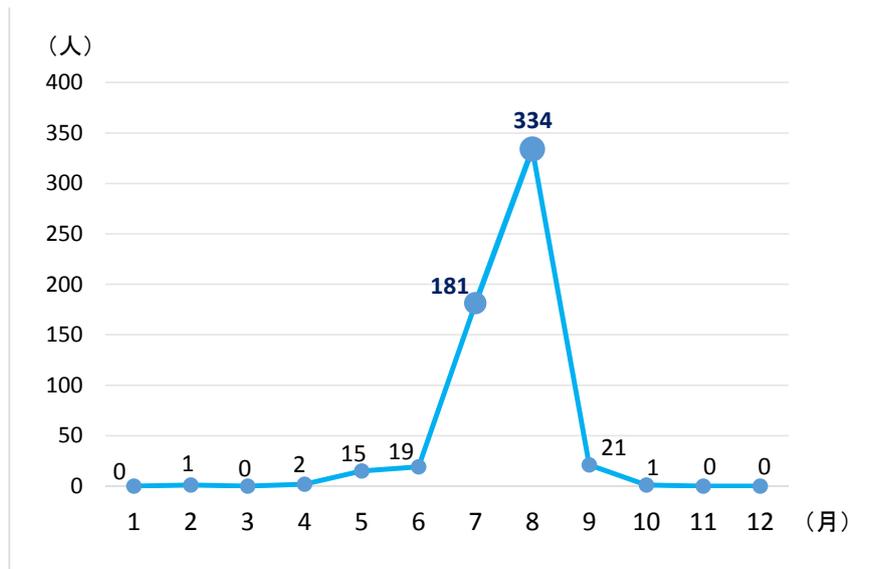
1. 屋外での水の事故情報

(1) 事故者数

① 海での遊泳中の子どもの事故（海上保安庁の情報）

平成 20 年から平成 29 年までの 10 年間の海上保安庁の事故情報によると、子ども（14 歳以下）の海での遊泳中の事故者数は 574 人に上ります。月別にみると 7 月に 181 人、8 月に 334 人と、海水浴シーズンであり、夏休み期間中でもある 7～8 月の 2 か月間に発生が集中しています（図 1）。

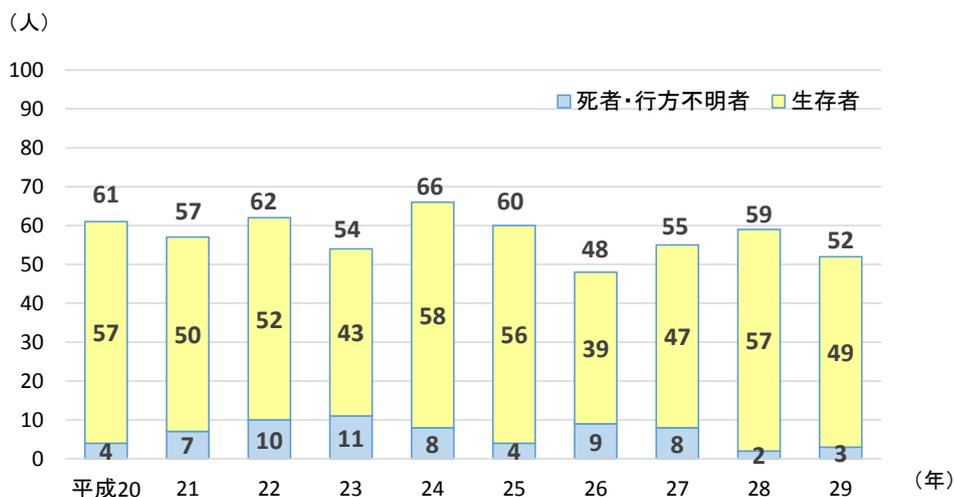
図 1. 月別の発生状況（14 歳以下・平成 20 年～平成 29 年）



出典：海上保安庁「海難発生状況」

また、海での遊泳中の事故者数の推移を年別にみると、毎年約 50～60 人台で、そのうち死者・行方不明者数は、直近の平成 29 年では 3 人という状況です（図 2）。

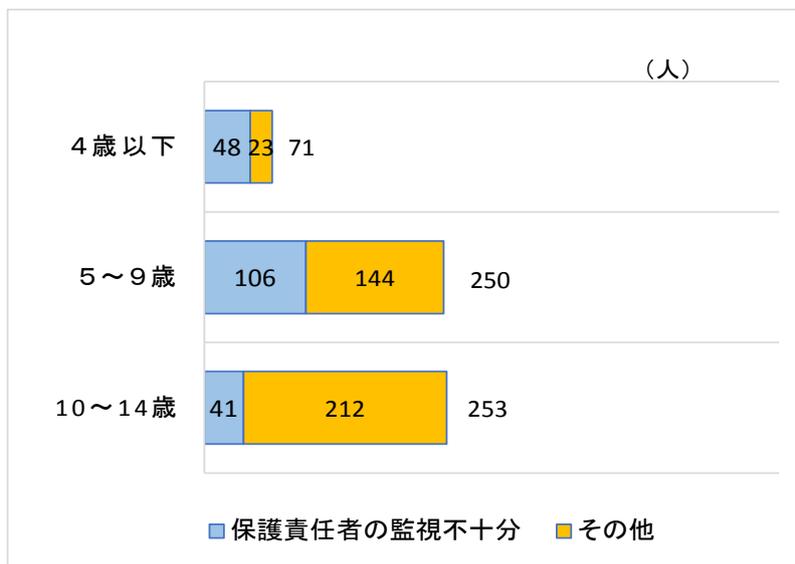
図 2. 年別の事故者数（14 歳以下・平成 20 年～平成 29 年）



出典：海上保安庁「海難発生状況」

平成 20 年から平成 29 年までの 10 年間の事故者数を年齢別にみると、「5～9 歳」が 250 人、「10～14 歳」が 253 人で、年齢が上がるにつれ事故が多くなっていることがうかがわれます。一方、「4 歳以下」は 71 人と人数は少ないものの、そのうち保護責任者の監視が不十分であったことに起因する事故が 48 人（67.6%）となっています（図 3）。

図 3 . 年齢別の事故原因別発生状況（14 歳以下・平成 20 年～29 年）



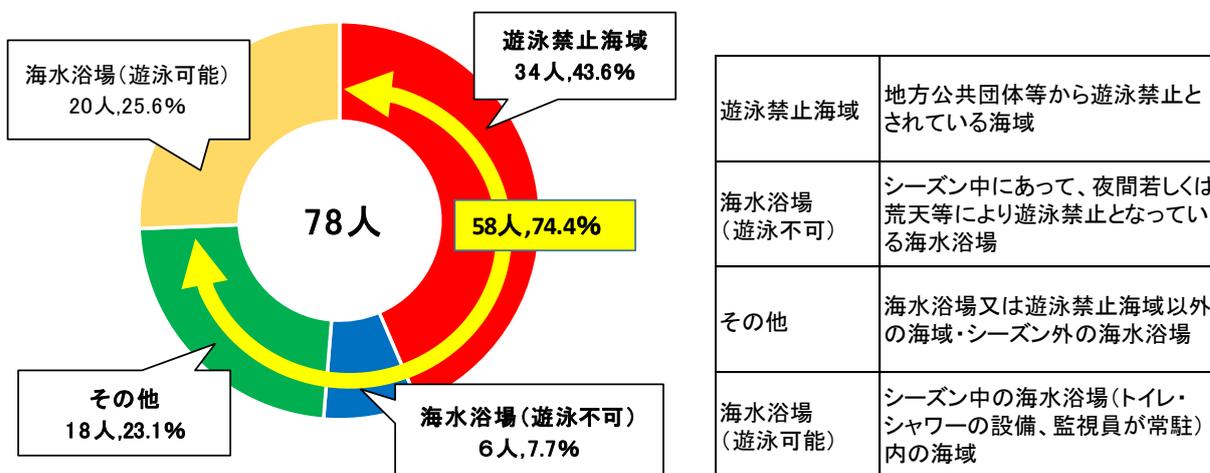
出典：海上保安庁「海難発生状況」

※「その他」には、保護責任者と同伴していない事故を含む

平成 20 年から 29 年までの 10 年間の離岸流（沖へ流れる、海水の強い流れ）により、78 人の子ども（14 歳以下）が海での遊泳中に帰還不能（漂流等により、保護が可能な陸岸に戻れない状態）になっています。

場所別にみると、「遊泳禁止海域」、「海水浴場（遊泳不可）」、「その他」で合計 58 人（74.4%）となり、監視員が常駐していない場所での事故が多く起きています（図 4）。

図 4 . 離岸流による遊泳中の帰還不能事故 場所別発生状況（14 歳以下・平成 20 年～平成 29 年）



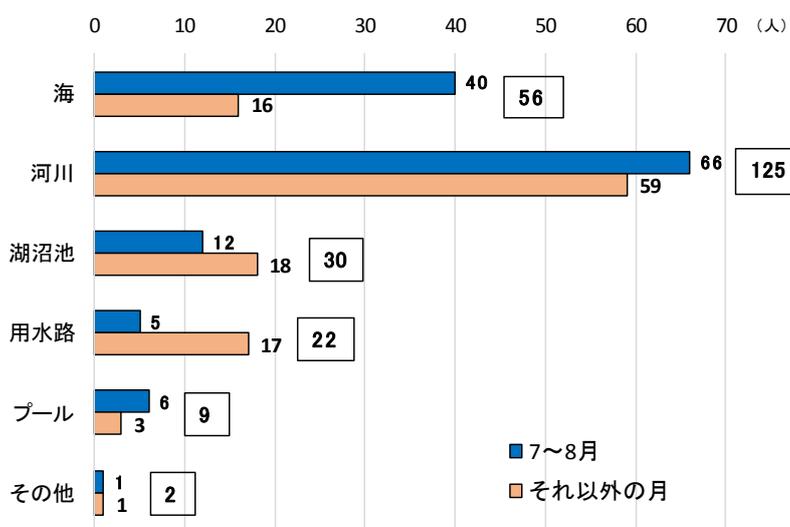
出典：海上保安庁「海難発生状況」

②海、河川、湖沼池、プール等での子どもの事故（警察庁の情報）

平成 24 年から平成 28 年までの 5 年間の警察庁の水難事故情報によると、子ども（中学生以下）の海、河川、湖沼池、用水路、プール等における死者・行方不明者数は 244 人に上ります（図 5）。

発生場所別にみると「河川」が 125 人と最も多くなっています。水遊びをする機会が多くなる 7～8 月に着目すると、「河川」が 66 人、「海」が 40 人となっています。また、「河川」、「湖沼池」、「用水路」では 7～8 月以外の時期でも事故が目立ち、誤って転落し溺れるなどの状況がうかがわれます。

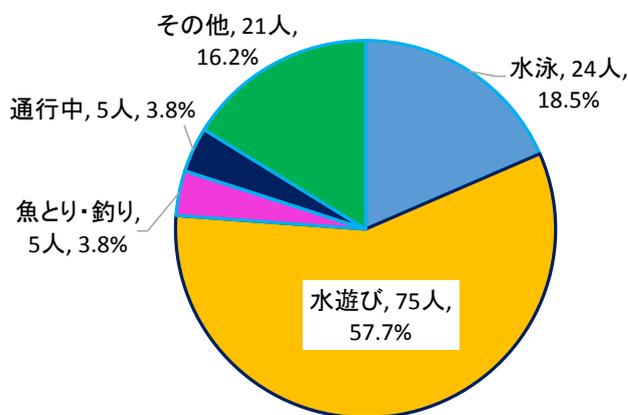
図 5. 発生時期別・発生場所別の死者・行方不明者数
（中学生以下・平成 24 年～平成 28 年）



出典：警察庁「水難発生状況について」

また平成 24 年から平成 28 年までの 5 年間の 7～8 月の水難事故における行為別の死者・行方不明者数は、「水遊び」が 75 人（57.7%）で最も多く、次いで「水泳」24 人（18.5%）の順となっています（図 6）。

図 6. 行為別の死者・行方不明者数（中学生以下・平成 24 年～平成 28 年の 7～8 月）



出典：警察庁「水難発生状況について」

※「その他」とは、陸上における遊戯・スポーツ中、ボート遊び、水難救助活動、シュノーケリング、スキューバダイビング、サーフィン等

(2) 死亡事故事例

【海での事故】

河口付近で遊泳中の男児2名が沖に流され、これに気付いた父親と付近で泳いでいた男性が救助に向かうも同様に沖に流されてしまい、計4名が行方不明となった。その後、4名は発見されるも死亡が確認された。

(海上保安庁 事故発生：平成29年8月、5歳、7歳、36歳、49歳 死亡)

【川での事故】

本児童は、下校途中で一緒になった4年生3人と川で遊ぶ約束をして一緒に川へ行った。それぞれが小魚や水生生物を探して遊んでいるうちに、本児童が溺れかけていたのを他の児童が見つけた。近くにいた人に助けを頼んで110番通報をしてもらった。140m下流で発見されたが、死亡した。

(独立行政法人日本スポーツ振興センター 学校事故事例検索データベース¹
給付年度：平成22年度、小学校3年生 死亡)

【湖での事故】

帰りの会が終わり下校する。本児童は湖の遊歩道を歩いていた。遊歩道では、他の児童とカエルを捕まえる等して神社まで行った。本児童が神社のそばの湖で亀が見たいと言ったが、他の児童は帰ると答え、別行動となった。事故現場付近は、通学路と至近距離にあり隣接している。通りかかった時に翌日の学習のために立ち寄ったことも考えられる。18時過ぎ、家族から帰宅していない連絡が入り、湖周辺の搜索の結果、溺れている本児童を発見し、病院で死亡が確認された。

(独立行政法人日本スポーツ振興センター 学校事故事例検索データベース
給付年度：平成24年度、小学校2年生 死亡)

【用水路での事故】

下校班で下校中、用水路にカニを捕ろうと、かばんを友人に持たせて用水の近くまで行ったが、すべて転倒し転落して流されてしまった。友人が交番に知らせ、消防隊が発見し、病院に搬送したが、同日死亡した。

(独立行政法人日本スポーツ振興センター 学校事故事例検索データベース
給付年度：平成26年度、小学校1年生 死亡)

【プールでの事故】

夏季休業中、低学年プール指導の際の自由プールの時間、教員が水面にうつ伏せで浮かんでいる本児童を発見した。意識はなく、すぐに心臓マッサージ、人工呼吸、AEDを試みる。救急隊到着後、病院に搬送、集中治療室で治療を受けていたが、翌日死亡した。

(独立行政法人日本スポーツ振興センター 学校事故事例検索データベース
給付年度：平成24年度、小学校1年生 死亡)

¹ 学校事故事例検索データベースとは、災害共済給付*において平成17年度から平成28年度までに給付した、総数6,549件の死亡・障害事例が検索できるデータベース。

https://www.jpnsport.go.jp/anzen/anzen_school/anzen_school/tabid/822/Default.aspx

* 日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度は、児童生徒等が学校の管理下で「負傷」などをした時に、保護者に対して給付金を支払う制度。

2. 保護者や周囲の人等へのアドバイス

(1) 屋外の水辺の場面別注意ポイント

①海水浴など、海での注意

- 1) 天候の変化に注意し、悪天候の時には海に出ないようにしましょう。
- 2) 危険な場所がないか確認し、危険な場所で子どもを遊ばせないようにしましょう。
- 3) 子どもだけで遊ばせず、必ず大人が付き添って、子どもから目を離さないようにしましょう。
- 4) 監視員が常駐する海水浴場で泳ぎましょう。
- 5) 離岸流（沖へ流れる海水の強い流れ）に気を付けましょう。
- 6) 釣りをする時やボートに乗る時などは、ライフジャケットを正しく着用しましょう。



②川での注意

- 1) 天候の変化や川の状況を川に行く前からチェックしましょう。
- 2) 川には流れがあったり、急に深くなる所や滑りやすい所があるので、表面は穏やかでも水中には注意しましょう。
- 3) 急な増水で水没するおそれがあります。河原や中洲、川幅の狭い所に注意しましょう。
- 4) 子どもだけで遊ばせず、必ず大人が付き添って、子どもから目を離さないようにしましょう。
- 5) ライフジャケットを正しく着用しましょう。



③湖沼池、用水路等での注意

- 1) 湖沼池や用水路の周囲に柵がないなど、転落するおそれがある危険な場所がないか確認しましょう。
- 2) 立入禁止の場所などで子どもが遊ばないように注意しましょう。

④プールでの注意

- 1) 必ず大人が付き添い、子どもから目を離さないようにしましょう。
- 2) 学校等の教育施設や公共施設内などにあるプールでは、監視員や施設の職員等の指示に従いましょう。
- 3) 滑りやすいプール周辺では走らず、危険な飛び込みもやめましょう。

(2) 万一、事故に遭ってしまったら

衣服を着たまま、海などの水中で溺れたり、漂流してしまった時の対処法
合言葉は、「浮いて待て！」

無理に泳いで体力を消耗させることなく、救助されるまでの間、仰向けで力を抜いて大の字になって漂流することが、対処法として有効です。

「浮いて待て！」を実行し、救助された事例が報告されています。



【救助事例】

子ども4人でビーチで磯遊びをしていたところ、1人が深みにはまり流されてしまった。しかし流された子どもは、救助されるまでの間、テレビ番組で見た、流された場合の姿勢（仰向けで力を抜いて大の字になる。）をとって漂流。友人が近くにいた大人に救助を求め、同人が消防に通報。その後、ビーチ救難所の水上オートバイにより救助された。

（海上保安庁 事故発生：平成29年3月、12歳）

(3) 周囲が事故に気付くために

子どもは静かに溺れる

子どもが溺れる場合、子ども自身が溺れていく状況を判断できず、声を出したり、必死にもがいたりせず、静かに溺れていくと言われています。周囲の人はこういった知識を持って一刻も早く事故に気付くようにしましょう。

(4) 事故に遭わないために

ライフジャケットを活用しましょう

釣りやボートへの乗船、川遊びをする時に、浮力があり水面で呼吸が可能になるライフジャケットを正しく着用することは、事故防止の有効な対応法です。



参考1：「海で安全に楽しむために」（海上保安庁）

http://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/keihatsu/20170424_umi_ankenkyouzai.pdf

参考2：「河川水難事故防止！川で安全に楽しく遊ぶために」（国土交通省）

<http://www.mlit.go.jp/river/kankyo/anzen/>

参考3：「学校安全Web」（独立行政法人日本スポーツ振興センター）

<https://www.jpnsport.go.jp/anzen/>

3. 幼稚園等の教育・保育施設関係者へのアドバイス

幼稚園等の教育・保育施設関係者は、施設内でプール活動や水遊びを行う場合、以下の点に注意してください。

- ・監視に専念する人員を、プール指導等を行う人員と分けて配置し、その役割分担を明確にしましょう。

参考 4 : 「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」(内閣府、厚生労働省、文部科学省)

http://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/meeting/kyouiku_hoiku/pdf/guideline1.pdf

(別添 1) : 平成 30 年度「子どもの事故防止週間」ポスター

(別添 2) : 平成 30 年度「子どもの事故防止週間」実施要綱

本資料に関する問合せ先 :

「子どもの事故防止週間」事務局
(消費者庁消費者安全課 尾崎、白石)

TEL : 03(3507)9200 (直通)

FAX : 03(3507)9290

HP : <http://www.caa.go.jp/>

「消費者庁 子どもを事故から守る!公式 Twitter」

https://twitter.com/caa_kodomo

「子ども安全メール from 消費者庁」

<http://www.caa.go.jp/kodomo/mail/index.php>

